

平成 27 年第 2 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 3 月 4 日（5 日・6 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	小川 富貴	<p>1. <u>櫻ヶ丘開発による櫻ヶ丘ハイツへの影響は（建設部長）</u> 櫻ヶ丘ハイツ内で、開発されていなかった通称櫻ヶ丘地区には、帝京高校グラウンドが建設されたのを始め、リニア新幹線の通過、住宅団地 2 ヶ所等が予定されている。櫻ヶ丘全体の計画と既存住宅の在り方を問う。</p> <p>2. <u>可児市の英語教育は（教育長）</u> 話せない日本の英語教育が長く課題となって来ました。東京オリンピック開催の決定、観光推進の中で、市も英語教育推進に向けた取り組みが計画され、また実施されている。今後の目標と展開を聞く。</p>
2	澤野 伸 (誠颯会)	<p>1. <u>インフルエンザ予防接種料金の一部助成の可能性を問う（健康福祉部参事）</u> 子どもの健やかな成長と、子育て世代の経済的負担を減らすことによる子育て環境の充実のためのインフルエンザ予防接種料金の一部助成実施の可能性について問う。</p> <p>2. <u>地域包括ケアシステム構築に向けた今後の展開を問う（健康福祉部参事）</u> 地域包括ケアシステムの「5つの構成要素」を、「自助」「互助」「共助」「公助」の概念から如何に支えていく方策や課題解決に向けた取り組みについて問う。</p>
3	天羽 良明 (誠颯会)	<p>1. <u>『美しい川を活かしたまちづくり』（企画経済部長・建設部長）</u> 市内全域に流れる総延長約 40 km の川は大切な資源である。健康づくりの核として歩こう可児 302 運動と K ルートの充実のために川沿いの道を地域とともに整備すべきだ。</p>
4	川合 敏己 (誠颯会)	<p>1. <u>市内ため池の安全対策について（建設部長）</u> 今年 2 月には市内ゴルフ場内の池で転落事故がおきました。本市には多くのため池があります。こうした悲惨な事故を教訓にして、市はため池の安全対策をどのように講じていくべきか、そのお考えをお聞きします。</p>
5	伊藤 寿 (誠颯会)	<p>1. <u>農業政策について（企画経済部参事）</u> 農業を取り巻く環境は大変厳しく、農業者の高齢化、後継者問題、耕作放棄地などの問題がある。国は、農業改革に取り掛かっているが、市としても将来に向け農業のあり方について示していくことが必要である。</p> <p>2. <u>河川改修について（建設部長）</u> 地域住民が安全で安心して住めるよう、河川改修の早期完成が望まれるが、現在の進捗状況ならびに今後の事業計画はどのようなか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
6	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 何とかならないか介護保険制度 (健康福祉部参事)</u> 本年4月から始まる第6期介護保険事業計画では、介護保険料はあがるのに、数々のサービスが削られ、「保険あってサービスなし」の状態がますます深刻になる。本市の介護保険事業計画について問う。</p> <p><u>2. 子育て支援は18歳までを (健康福祉部長・教育委員会事務局長)</u> 本市では「マイナス10ヶ月つなぐ まなぶ かかわる子育て」として様々な施策を展開中だが、子育て支援期間を義務教育終了時までではなく、18歳までとして新たな子育て支援の施策を要望する。</p>
7	伊藤 英生 (民主ネット 可児)	<p><u>1. 青少年のネット依存対策を問う (教育委員会事務局長)</u> スマートフォンの普及等により、青少年のネット依存が社会問題化している。長時間の使用により睡眠障がいやうつ症状の発症など、生活環境の悪化を招いているとの報告もある。本市の状況とその対策を問う。</p>
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 子育て中の母子家庭等に、国保税の特別減免を (健康福祉部長)</u> 基礎控除以外に所得控除をしない国保税算定では、母子家庭等には過大な税負担であり、その8割が法定軽減を利用しても、現年分の国保税滞納が36%に上る。国保税条例25条による特別減免を措置すべきだ。</p> <p><u>2. リニア問題、市長の姿勢を質す (企画経済部長・市民部長)</u> リニア建設推進の岐阜県は用地取得交渉をJR東海に代わって推進するための予算を組んだ。関係市に職員の派遣を要請するという。市は民間事業の代理行為に必ずべきか否か、また事前の水質調査を行うべきではないか。</p>
9	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 平成27年度の施政方針について問う (企画経済部長)</u> 平成27年度施政方針における一般会計予算案に対し、扶助費等の社会保障費の増加への対応方針、市民中心の行財政運営とは何か。また、市長の考える子ども達の社会力とは何か。</p> <p><u>2. 聴覚障がい者等への合理的配慮と手話言語法に対する見解について (総務部長・健康福祉部長)</u> 聴覚障がい者は、緊急事態が発生した場合でも何が起きているかわからない。非常ベルと連動したパトライトの設置を求める。また全国に広がりつつある手話言語条例の制定に対する見解を問う。</p> <p><u>3. 本市のデータヘルス計画について (健康福祉部長)</u> 効率的な保健事業で医療費適正化に効果を上げる観点から、レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進について本市の見解を問う。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
10	板津 博之 （誠颯会）	<p>1. <u>本市の特定不妊治療助成制度について問う（健康福祉部参事・教育長）</u> 平成27年度の施政方針で重点方針の一つとなっている「子育て世代の安心づくり」を進める上で、特定不妊治療に対する助成制度の充実は重要な施策であるとする。本市の特定不妊治療助成制度について問う。</p>
11	山根 一男 （民主ネット 可児）	<p>1. <u>可児市の医療ビジョンは（健康福祉部参事）</u> 超高齢化社会を迎える中、医療体制の充実に対する市民の期待は高く、不満も聞く。当市においては市民病院を持たない中で、どのようにこれからのニーズや医療体制の充実に取り組んで行くのか。</p> <p>2. <u>今後の公共施設マネジメントのあり方は（企画経済部長）</u> この三月議会において市の公共施設についての調査結果が発表される。これに基づいて、今後どのように公共施設をマネジメントしてゆくかが課題となる。その考え方を問う。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。